



イーソル株式会社

2021年12月期 第3四半期決算

2021年11月12日

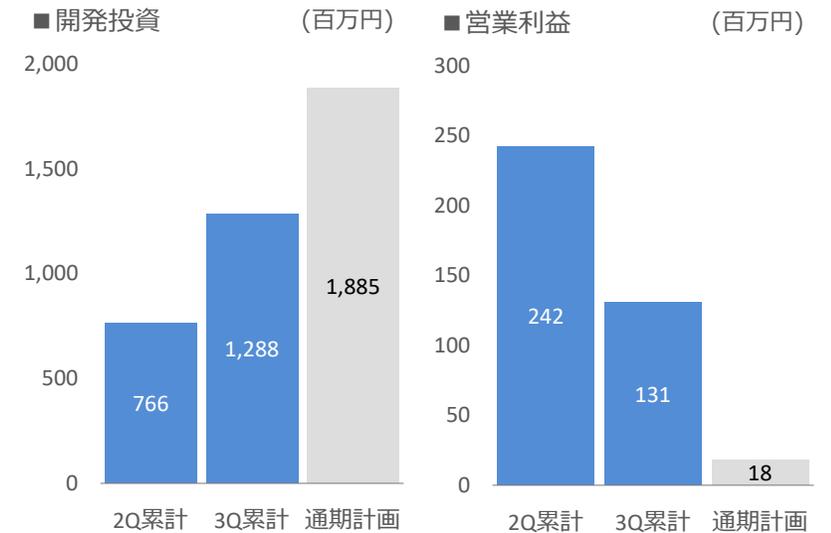
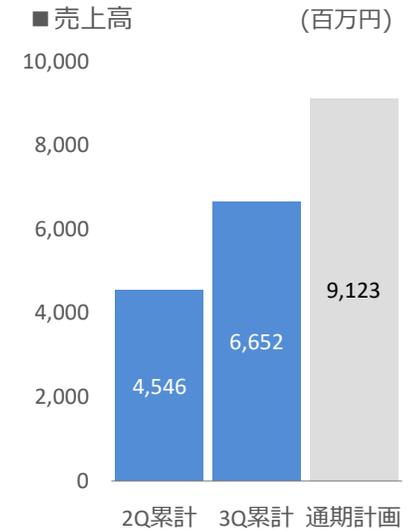
目次

1. 2021年12月期 第3四半期決算概要
2. トピックス

第3四半期決算の概要

計画値の進捗	全体	- 車載ソフトウェア向け自社製品の開発投資の増加などによる 2021年9月13日発表の計画値の進捗は、次のとおりです
前期比	売上高	- 組み込みソフトウェア事業は、コンシューマ向け売上減により、微減収 - センシングソリューション事業は、プリンタ販売増により増収 - 上記により、全体では微減収
	営業利益	- 開発投資の増加（前期比431百万円増）により減益 - 研究開発費を除く、販売費及び一般管理費は減少
	その他	- NEDO*の研究開発プロジェクトからの収入を営業外収益に計上

*国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構



第3四半期決算の数値

※「2021年通期計画」は、2021年9月13日発表の計画値

① セグメント別の詳細：P5 得意先セクター別の詳細：P7

(百万円)

	2020年 第3四半期	2021年 第3四半期	2021年		※2021年 通期計画
			前期比	計画進捗率	
売上高	6,670	6,652	▲0.3%	72.9%	9,123
売上原価	4,423	4,516	+2.1%	—	—
リビジョンアップ	235	502	+113.2%	—	—
売上総利益	2,247	2,136	▲4.9%	—	—
販売費及び一般管理費	1,848	2,004	+8.5%	—	—
研究開発費	621	786	+26.5%	—	—
営業利益	398	131	▲67.0%	710.6%	18
経常利益	613	379	▲38.1%	141.0%	269
当期純利益	459	271	▲40.8%	154.4%	176

② 前期比増減の詳細：P6

NEDO 助成金を営業外収益に計上

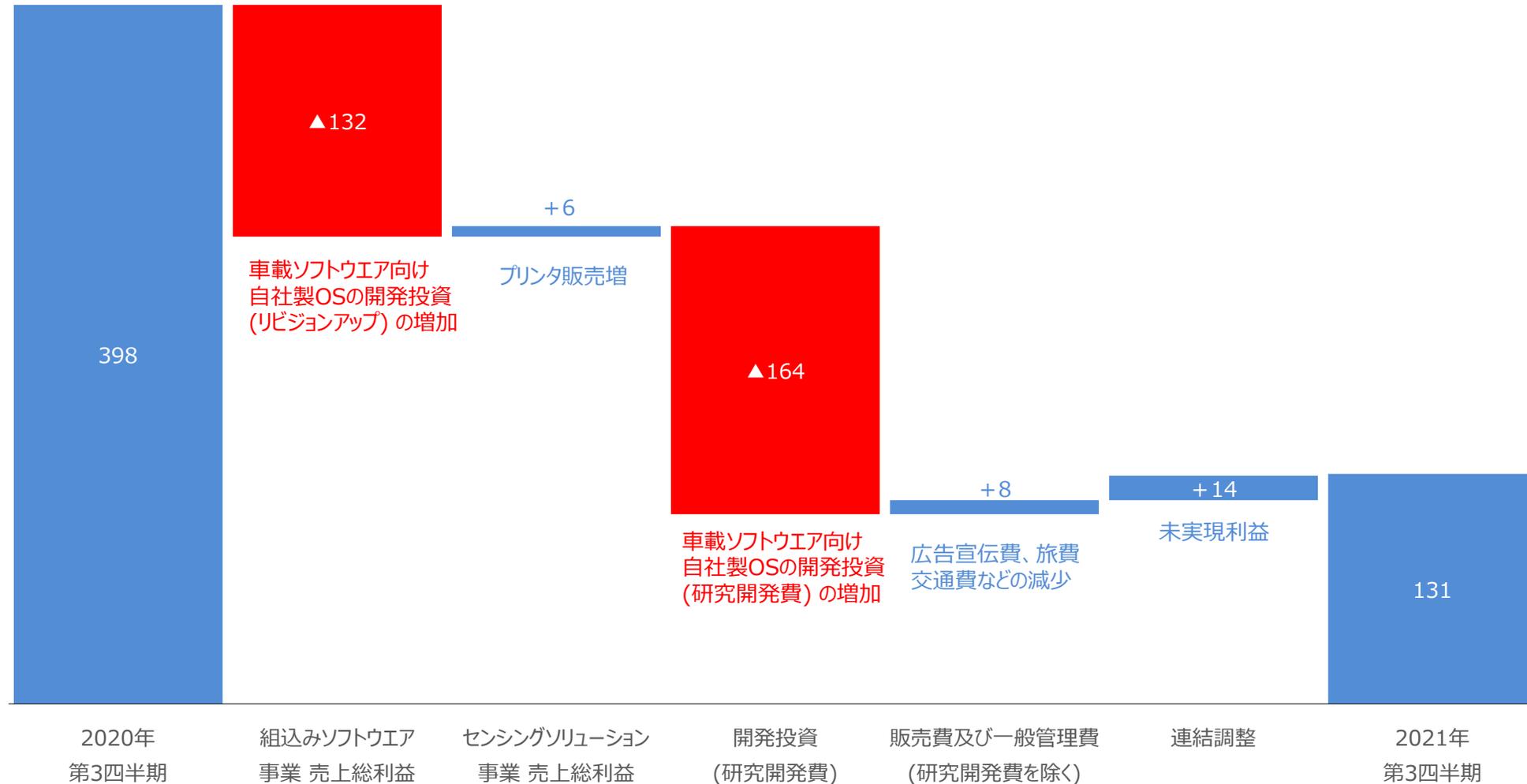
③ 開発投資（研究開発費＋リビジョンアップ）の詳細：P8,9

セグメント別の業績 ①

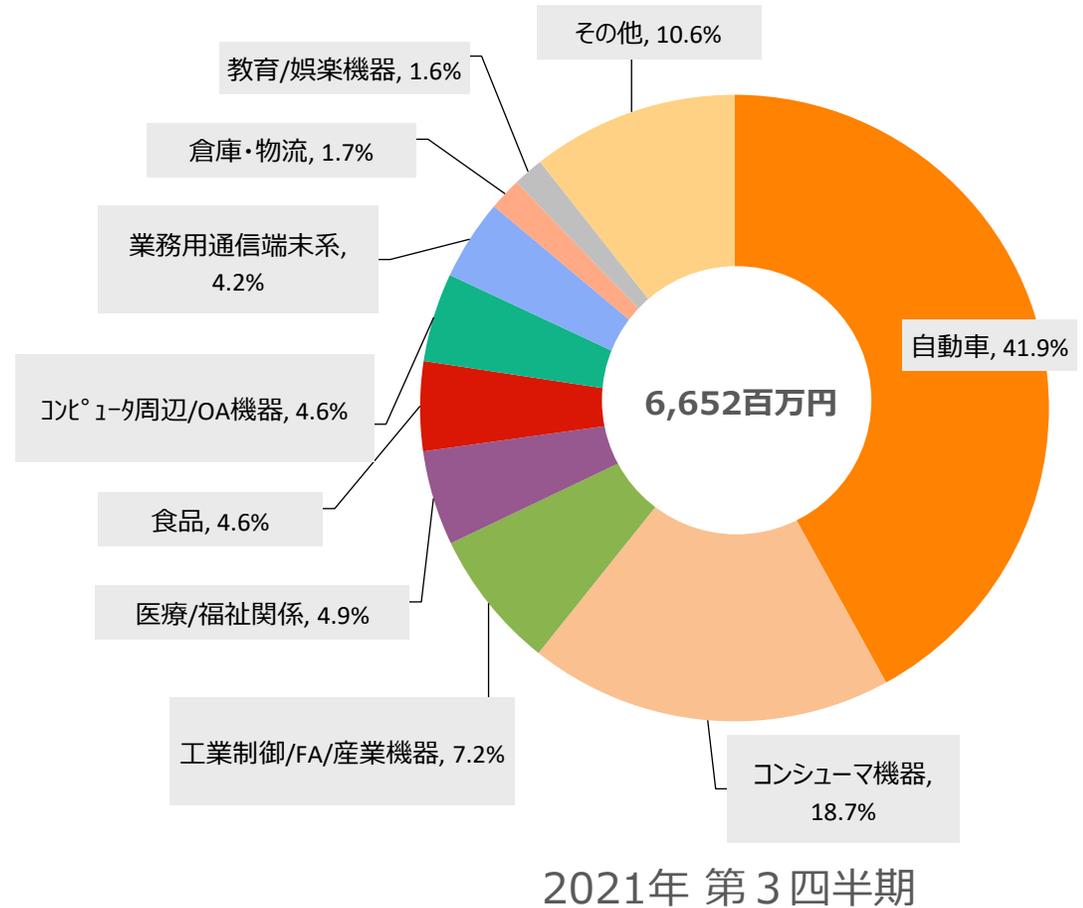
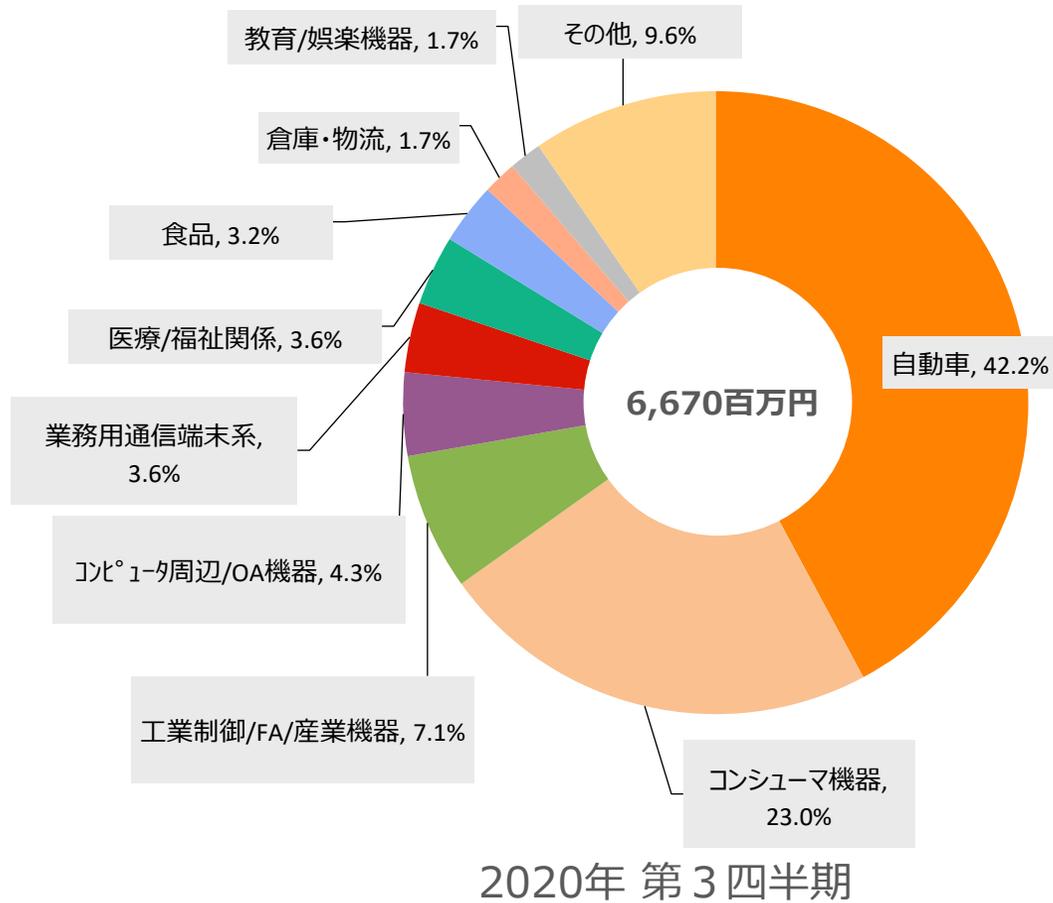
	(百万円)		
	2020年 第3四半期	2021年 第3四半期	前期比
売上高	6,670	6,652	▲0.3%
組込みソフトウェア事業	6,172	6,070	▲1.7% コンシューマ向け売上の減少
組込みソフトウェア製品	1,369	1,302	▲4.9%
エンジニアリングサービス	4,803	4,768	▲0.7%
センシングソリューション事業	479	547	+14.2% プリンタ販売増
連結調整	18	34	— 関係会社オーバス社との取引における調整項目
売上総利益	2,247	2,136	▲4.9%
組込みソフトウェア事業	2,027	1,895	▲6.5% 開発投資 (リビジョンアップ) の増加
センシングソリューション事業	189	195	+3.3%
連結調整	30	45	—
営業利益	398	131	▲67.0%
組込みソフトウェア事業	363	64	▲82.4% 開発投資 (研究開発費) の増加
センシングソリューション事業	4	22	+391.2%
連結調整	30	45	—

営業利益増減要因（前期比） ②

（百万円）



得意先セクター別の売上割合 ①



開発投資の状況 ③

開発投資 ～ 独自OSをもつ国内ベンダーとして、世界市場をターゲット

■ 開発投資の考え方

研究開発費とリビジョンアップに、每期、継続投資して自社製品のさらなる高機能化を目指す。

■ 今期の方針

電子化が進む自動車市場をターゲットとし、自社製OSの開発投資を海外を含めたグループ全体で加速する。

■ 計画の進捗

	(百万円)		
	2020年 第3四半期	2021年 第3四半期	前期比
売上高	6,670	6,652	▲0.3%
開発投資額	856	1,288	+50.4%
研究開発費	621	786	+26.5%
リビジョンアップ	235	502	+113.2%
売上高開発投資比率	12.8%	19.4%	—

リビジョンアップ：製品の機能維持のための投資



今後の開発投資（成長ドライバーは自動車） ③

■ 市場環境

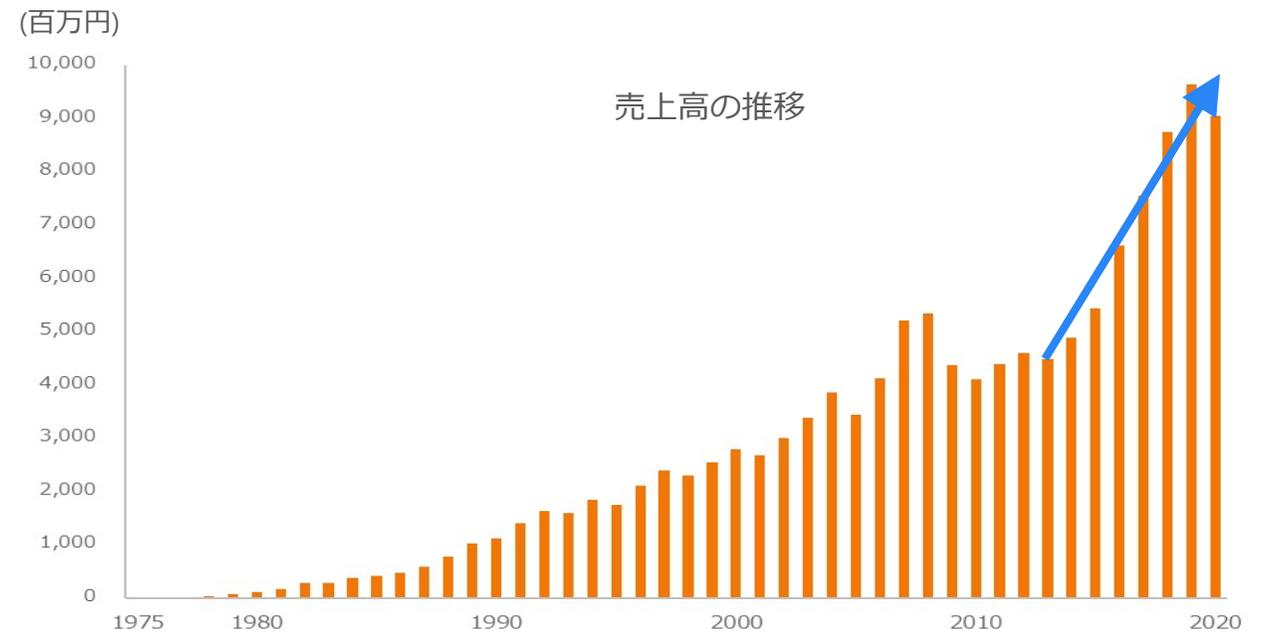
世界の自動車ソフトウェア市場は引き続き成長

国内車載ソフトウェア市場規模も2020年から2030年までに1.5倍を超える見込み  拡大する車載ソフトウェア市場

■ 当社業績

2013年から積極的な開発投資による業績拡大

売上高	売上高（自動車向け）
倍増	2.3倍
(2013年と2020年比)	



 拡大する車載ソフトウェア市場における将来の収益獲得に向けた開発投資を継続

株主還元

次の方針にもとづき、株主のみなさまへの還元を図ってまいります。

■ 配当政策

財務基盤の安定化

業績に応じた安定した配当性向

内部留保による企業価値向上への投資（開発投資、人材育成など）

■ 配当の額

今期は、前年比減益予想ではありますが、これは将来収益獲得のための開発投資の増加によるものであるため、配当額は、前年同額を予定しております。

	2019年	2020年	2021年
1株当たり配当金	*5.50円	5.50円	5.50円
（うち中間配当金）	(0.00円)	(1.50円)	(1.50円)
配当性向	17.0%	16.6%	**63.6%

*うち、記念配当1.50円

**2021年9月13日発表の予想値に基づいております。

目次

1. 2021年12月期 第3四半期決算概要

2. トピックス

最近の主なプレスリリース

- イーソルトリニティ、デンソークリエイイト社が開発した次世代システム・ソフトウェア設計ツール「Next Design」の取り扱いを開始

2021年10月5日リリース

https://www.esol.co.jp/press/press_529.html

➡ デンソー社との開発連携に加え、同グループとの販売連携も進め、収益獲得を目指します。

- デンソー社と車載関連のソフトウェアプラットフォームの開発連携と資本関係強化

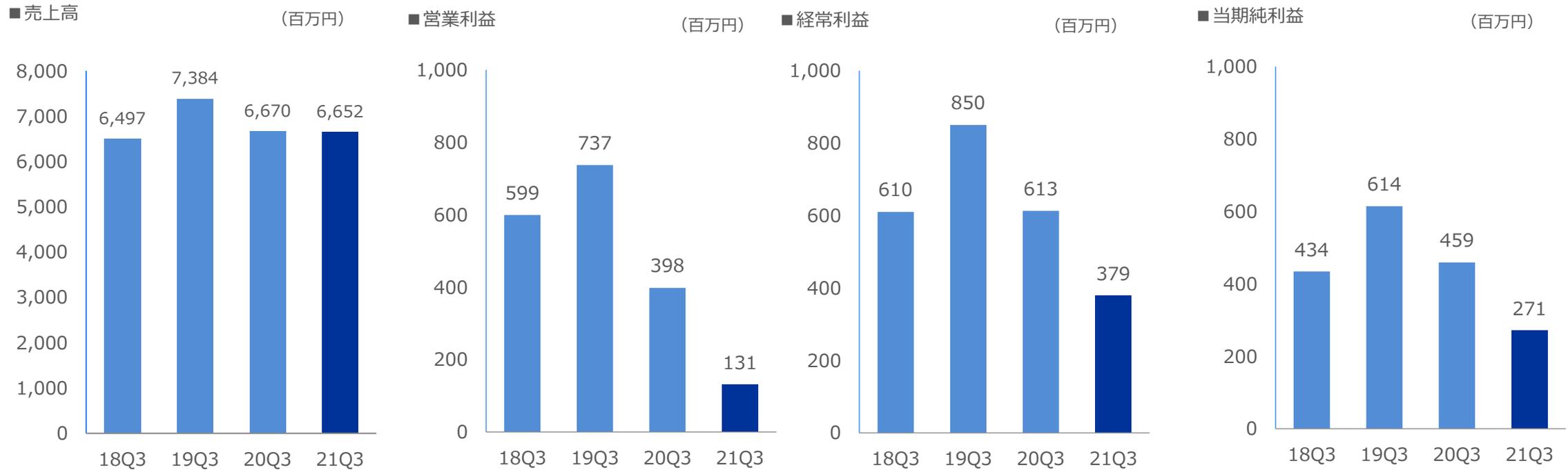
2021年9月13日リリース

https://www.esol.co.jp/irnews/irnews_526.html

➡ オーバス社を含めたデンソー社とのこれまでの開発連携をさらに効率的に進め、収益獲得を目指します。

ご参考資料

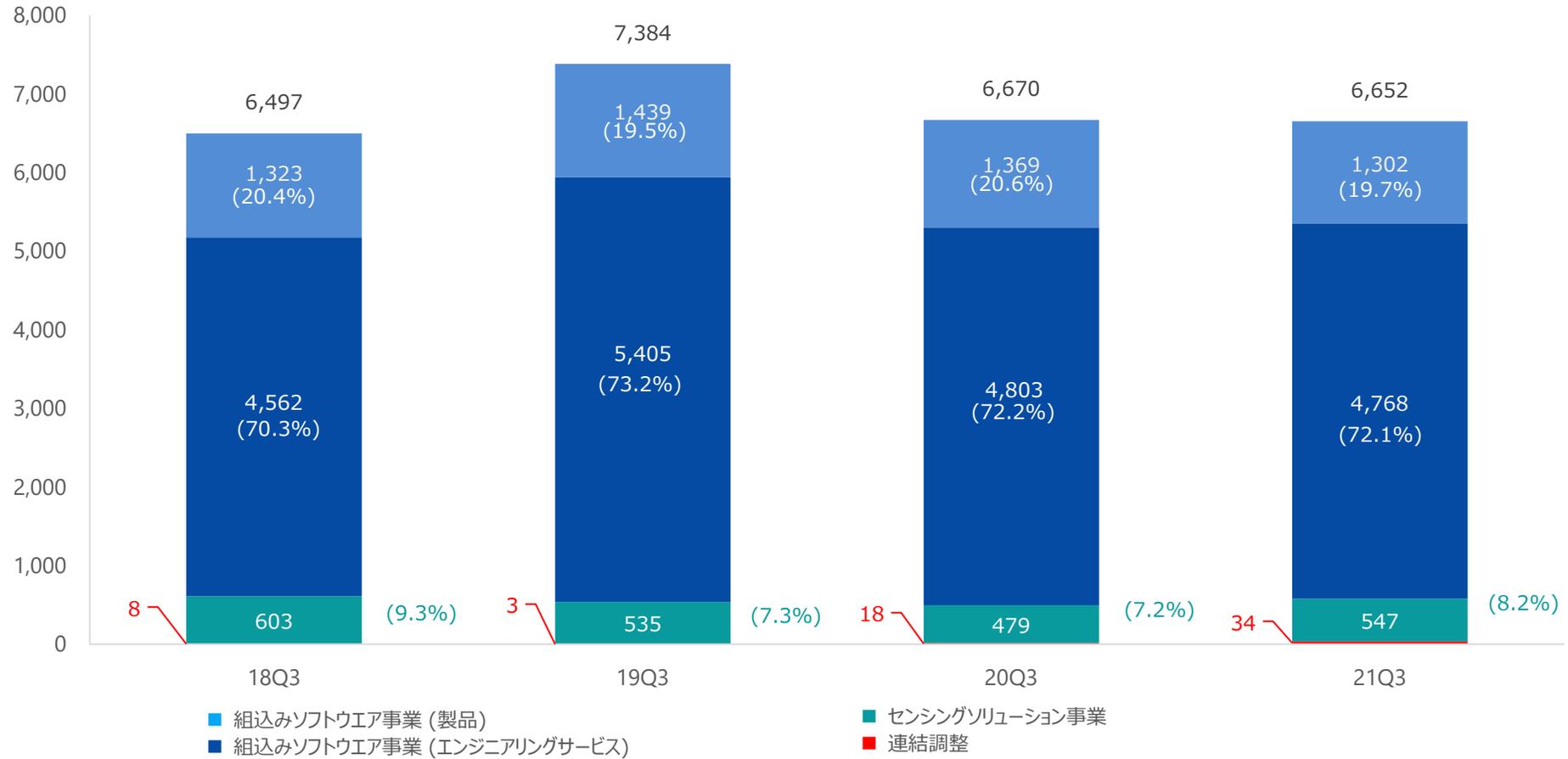
過去4年間同期比較



過去4年間同期比較 (セグメント別の売上高)

(百万円)

各割合は、連結調整前の組込みソフトウェア事業とセンシングソリューション事業の合計に占める割合



本資料の取扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する内容が含まれておりますが、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性などを含むため、将来の経営成績などの結果を保証するものではありません。

したがって、実際の結果は、環境の変化などにより、本資料に記載された将来の見通しと大きく異なる可能性があります。

上記のリスクや不確実性には、国内外の経済状況や当社グループの関連する業界動向などの要因が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・事象の発生などがあつた場合においても、当社グループは、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報について、更新・改訂などを行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社グループ以外に関する情報は、公開情報などから引用したものであり、当社グループは当該情報の正確性、適切性などを保証するものではありません。

お問い合わせ先

イーソル株式会社
社長室 IR担当

e-mail : esol-ir@esol.co.jp

当社WEB : <https://www.esol.co.jp/>